

2025年10月

1日 幹事長会・議会運営委員会※



9月定例会 本会議※

3日 第74回豊中市戦没者並びに空爆犠牲者追悼式※



7日 令和7年度市町村トップセミナー

15日 市民福祉常任委員会※

16日 文教常任委員会※

18日 豊中まつり※

19日 豊中まつりボランティア

20日 建設環境常任委員会※



21日 総務常任委員会（神原在籍）※

23日 広報委員会※

26日 北条公民分館創立50周年記念式典※



31日 新免幹線整備事業 工事現場見学会

2025年11月

2日 前向きサロン（市政報告会）



5日 大阪府市議会議長会 総会※

7日 大阪広域水道企業団議会議員全員協議会※

9日 熊野田公民分館創設70周年記念式典

10日 広報委員会※ 豊中市私立幼稚園連合会茶話会

12日 沖縄県浦添市・沖縄市視察

13日 沖縄兄弟都市交流 行政視察

15日 消防団フェア※

収支報告

2025年10月～12月分

収入	
議員報酬等	¥2,070,000
期末手当（注1）	¥1,904,400
合計	¥3,974,400
支出	
所得税	¥618,686
議員団費	¥9,525
事務所費用へ	¥900,000
役職加算	¥317,400
住民税・社会保険	¥483,730
生活費	¥1,645,059
合計	¥3,974,400
(注1) 690,000×2.3×1.2	
(注2) イベント参加費・カンパ	
(注3) 勉強会参加費など	

(注1) 690,000×2.3×1.2

(注2) イベント参加費・カンパ

(注3) 勉強会参加費など

神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町3-1-20 エルビル2階
TEL&FAX:6854-5664



平日（土・日祝日は除く）の10時から17時はスタッフがおります。

young_spiritjp@yahoo.co.jp

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。



発行元 大阪維新の会・無所属議員団（神原所属会派）

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 ☎6858-2525(代表)



豊中の未来を描こう！！

発行 2026年冬号

VOL. 231

旧年中は
お世話になりました。
本年もよろしく
お願ひいたします。

豊中市議会議員
無所属



かんぱらこういちらう 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

12月定例会・個人質問と答弁

①環境施策に関する補助金

～市民の環境意識、ニーズの高まりに合わせた制度の拡充を！！～

Q. 本市には、スマートハウス支援補助金として、太陽光発電設備（2万円/kW（上限6万円））、蓄電システム（1万円/kWh（上限6万円））、エネファーム（6万円）、断熱リフォーム（購入費用の1/3（上限20万円））などの制度があるが、制度の目的と効果に対する市の評価は？

A. 住宅の省エネ・創エネ化の促進を目的に実施している。制度の効果については、省エネ・創エネ設備設置のインセンティブとなることに加えて、本補助金の周知啓発により「エネルギーを賢く使うこと」について考えるきっかけとなるものと考えている。

Q. 受付開始からわずかな期間で予算額に達し、終了となったが、その要因は？

A. 制度が市民や販売事業者に定着したことが一因。限られた財源の中で本補助金を効果的に活用し、住宅の省エネ・創エネを促進していくことが課題と認識している。

Q. 来年度、予算の拡充を含めた制度の見直しをすべきではないか？

A. 補助メニュー・補助単価等を検討すると共に、省エネ・創エネ設備や技術の進展や国の省エネ施策の動向を注視し、市民のニーズを見極め、より効果的・効率的な補助金制度となるよう努める。

Q. 電動生ごみ処理機の購入補助を検討はどうか？

A. 処理機の効果や導入後の継続性、補助制度の市民ニーズなど、引き続き調査・研究し、検討していく。

★意見・要望★

スマート支援補助金については、より多くの市民が補助金を活用できるよう、可能な限り、予算の執行状況や市民ニーズを来年度以降の補助メニュー・予算額に反映させて欲しい！！

他方、家庭から出される燃やすごみで最も多いのが生ごみで、そのうち約80%が水分のため、焼却には膨大なエネルギーとコストがかかっている。そのため、電動生ごみ処理機の購入に助成金を出し、家庭から排出されるごみの焼却にかかる費用を削減することは合理的と考える。また、市民が各家庭でごみの減量・資源循環に取り組む契機の一つにもなるため、電動生ごみ処理機の購入助成制度を積極的に検討して欲しい！！

神原宏一郎の個人質問の全容はホームページをご覧ください。

<http://positive-square.sakura.ne.jp/>

皆さまのご意見・ご感想をお聞かせ下さい。

メールアドレス：young_spiritjp@yahoo.co.jp



神原の個人質問と答弁



②学校内の盗撮や画像等の流出、拡散対策

～子どもたちが安心して生活、学習できる学校を目指して！！～

Q. 全国の中学校等で発生している教職員による盗撮事件に対する教育委員会の見解は？

A. 全国的に発生している盗撮事案については、児童生徒の安全・安心を著しく損なう重大な不祥事であり、学校教育に対する信頼を搖るがす極めて深刻な問題として認識している。

Q. 本市が取り組んでいる対策は？防犯カメラの校舎入口や廊下など共用スペースへの設置や AI による映像監視システムの導入など盗撮の未然防止に取り組む教育委員会や学校現場があるが、本市も検討すべきではないか？

A. 今年度、全市立学校で指導主事による『不祥事予防研修』を実施することで意識の醸成に取り組んでいる。また、教職員のスマホ利用は、教職員の個人所有の端末やカメラを原則として教室等に持ち込まないことや、児童生徒の対応は可能な限り複数で行ったり、密室での個別指導を避ける指導を行っている。今後も引き続き、効果的な施策や取組みについて検討・実施していく。防犯カメラ等による盗撮の未然防止については、先行して取り組んでいる自治体等の事例などを研究していく。

Q. 不祥事が起きた経緯や背景等の調査、分析も未然防止に重要かつ有効ではないか？

A. 今年度実施の『不祥事防止・根絶に向けての教職員実態調査』の分析や不祥事事例の研究に基づき、より有効な未然防止策のあり方を検討する。

Q. 生徒同士による盗撮や画像の SNS 等での拡散も問題となっているが、課題認識と対策は？

A. 盗撮や SNS での拡散等インターネット上のいじめや犯罪等の問題の深刻化については喫緊の課題であると認識している。

<児童生徒に貸与しているタブレット端末を使った盗撮や拡散等の防止策>



- 学習活動で許可されたものだけを保存し、自分以外の人が映っているものなど、不要なデータは削除
- タブレット端末の SNS 機能の利用制限、学習ソフト上の子ども同士のグループ設定制限 など

今後については、不適切な画像を検知するアプリ等の導入事例を含め、他市事例を参考にしながら、対応策についての研究を進めていく。

Q. 万一、児童や生徒がそういった事案に巻き込まれた場合、当事者やその家族等の相談や支援をはじめ、事態の解決やトラブルの解消に向けた、現状の仕組みや体制と課題認識は？

A. <各学校において、教職員が組織として課題を共有し、初期対応を行う体制を構築>

- スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーと連携した相談受付や心のケア等の支援の実施
- 状況に応じ、警察等の関係機関と連携
- 専門的な助言が必要な場合は、学校問題解決支援事業を通して法的な知見の提供や心理支援の実施
- デジタル・ネットワーク環境特有の事案、特に画像等の拡散を伴う事案については、インターネット上に流出したデータを完全に消去することは極めて難しいなどの課題もあり、未然防止と事後対応・支援の両面から、今後も実効性のある適切かつ柔軟な対応を進めていく。

★意見・要望★

まずは、子どもたちが、盗撮や、SNS 等を介した流出や拡散といったデジタル・ネットワーク環境特有の事案に巻き込まれることを可能な限り防ぎ、加害者にも被害者にもさせない環境整備に向けて、防犯カメラの設置や不適切な画像を検知するアプリ等の導入などのハード面と、教職員に対する服務規律の徹底や不祥事予防研修の充実やネットリテラシー、SNS リテラシー研修の充実、児童生徒への各リテラシー教育の推進や充実などのソフト面の両面から、これまで以上により積極的かつ貪欲に尽力して欲しい！！教職員の不祥事の未然防止に関しては、より有効な防止策のあり方を模索するため、教職員実態調査等の分析や不祥事事例の研究にも注力して欲しい！！

③マイクロアグレッショング

～自覚なき差別への対策を！！～

若い人に
「経験が浅いから不安だ」

高齢者に
「スマホやパソコンは苦手でしょう」

外国人に
「日本語が上手いね」

「女性なのに
管理職なんてすごい」

マイクロ
アグレッショングの
具体例

「男性だから
当然出世したいよね」

「〇〇人なら
運動神経は良いよね」

Q. マイクロアグレッショングとは？

A. 自分ではそのつもりはなくとも、いつの間にか身に付いた思い込みで相手を傷つけてしまう、無意識の偏見からくる差別的な言動のこと。



Q. マイクロアグレッショングに対する市の課題認識は？

A. 悪意なくとも相手を傷つけ、一つ一つは小さくても繰り返されることで大きなストレスを与え、不平等感につながる。見えにくい差別を「見える化」し、啓発することで、さまざまな文化的背景を持ったすべての人が、地域社会の構成員として共に安心して暮らせる多文化共生のまちの実現を図る必要がある。

Q. マイクロアグレッショングに対する市職員の認知度、意識の醸成度は？

A. すべての職場で、全職員が参加する「人権研修」を実施している。令和7年度からは新規採用職員研修に学習の機会を設け、マイクロアグレッショングに関する理解を深めている。また、市職員が利用するポータルサイトにマイクロアグレッショングに関する資料を掲載し、認知度の向上を図っている。

Q. 市民へのマイクロアグレッショングに関する周知や啓発等も重要と考えるが、市の見解は？

A. 現在、市ホームページ上にマイクロアグレッショングに関する説明を掲載しているが、今後、記載内容等の充実に努める。次年度には、市役所で啓発パネルの展示も予定している。

Q. 市民等がマイクロアグレッショングに関する悩みや疑問を相談できる窓口などは設置しているのか？

A. 専門相談は行っていないが相談があれば、以下で対応している。

- 人権平和センターの人権相談窓口や人権擁護委員による人権相談
- とよなか国際交流センター、とよなか男女共同参画推進センターすてっぷの相談窓口
- とよなか国際交流センターのハラスメント相談窓口において、センター事業の参加者・ボランティアを対象とした相談対応



★意見・要望★

マイクロアグレッショングは、無意識の偏見からくる差別的な言動で、ほとんどの場合、する側に悪意はないものの受け手にとっては声を上げにくい形で傷つけられ、さらに、受けた傷や苦しみを理解されないことで傷が深まり、継続的、断続的に繰り返されることで、心身に大きなストレスをもたらすと言われている。多様性と包摂性のある社会実現のために、マイクロアグレッショングに対する理解や自覚が重要と考える。まずは、市役所全体、全職員のマイクロアグレッショングに関する認識や理解の醸成を図ると共に、誰もが差別をする側に立つ可能性があるという意識を根付かせるため、より積極的かつ効果的な研修を実施し続けて欲しい！！あわせて、マイクロアグレッショングに対する一般社会の理解や意識、認識の醸成を図るために、様々な機会や媒体、手法を通じて、市民の方々への周知、啓発にも尽力して欲しい！！